

校訓「自主・協同・創造」

学校教育目標

「主体的に行動し、気づく目・感じる心を持ちながら、夢の実現に向かう生徒の育成」

「自主」：主体的に行動する生徒の育成 「協同」：気づく目・感じる心を持つ生徒の育成 「創造」：夢の実現に向かう生徒の育成

学力向上のための目標

- ・校内テストや授業時の評価を検証軸に「自分の考えの根拠を明確にして表現する」という重点課題について、国・県・市の学力検査結果から改善率10%達成(47.2%から57.2%)を目指す。

学力向上のための具体的取組（本校の重点取組事項）

（１）校訓に沿った授業改善の推進

①R・V・P・D・C・Aマネジメントサイクルの重視

- ・国、県、市、学校の学力検査を活用した学校改善、授業改善
- ・重点課題を改善するための「授業研究」の推進
- 重点課題：「自分の考えの根拠を明確にして表現すること」

②校訓とアクティブラーニングを重ねた授業改善の推進

- ・授業づくりのものさしの共通理解と協働実践
- ・重点課題を改善するための「授業研究」の推進

③自立した学び手の育成を図る授業改善の推進と家庭学習との連動

- ・生徒の計画力、修正力を高めるために年間指導計画、学習計画表を活用した協働実践
- 重点課題：「学びに向かう力、学びを修正する力の向上」

（２）個に応じた指導、特別支援教育の充実

- ・特別な支援が必要な生徒に対する指導の充実を図るための計画の作成と更新
- ・個に応じた指導の充実を図るために全職員による指導体制、学習環境の工夫
- ・GIGAスクール構想に沿ったICT機器を有効に活用した授業の展開

（３）学力向上に有効な教育課程の編成

- ・国、県、市の学力検査、校内テストと学校行事の調整等、学力向上に有効な教育課程の編成
- ・スキルタイム、自主活動等、諸活動の帯時間の工夫
- ・AIDRILを有効に活用した個に応じた指導の工夫

（４）求めて学ぶ態度の育成と家庭での自主学習の指導の充実

- ・『自主学習の手引き（改訂版）』の活用による主体的な学習の展開と家庭学習との連動

校訓「自主・協同・創造」に沿った授業改善
～ 授業づくりのものさし ～

【自主】

自ら求めて学ぶ生徒の育成

- ・本単元（題材）、本時のねらいを明確にする。
- ・学習の見通しをもたせる。
- ・主体的な学習の展開を生む導入、各過程での的確な教示、助言を行う。
- ・個に応じた指導を適切に行う。
- ・本時の評価を確実にいき、次なる到達、改善に向かわせる。
- ・授業時の主体的な学習の展開と家庭学習を連動させて、学力を定着させる。

【協同】

協同し高め合う生徒の育成

- ・互いの意見、考えを大切にする支持的風土を築く。
- ・対話により互いの考え、意見を交流し解決に向かわせる。
- ・建設的な話し合い、相手を説得する討論等、様々な話し合い活動を展開させる。
- ・自身の得意分野を教え合う学習で各自の特長を伸ばす。
- ・課題の設定、情報の収集・分析、まとめ、発信などを級友と協働して活動させる。

【創造】

思考し判断し表現し目標の達成に向かう生徒の育成

- ・自分の考えや意見の根拠を明らかにして表現させる。
- ・友達の考えや情報（人・物・こと）に出会い、新たなものを創造させる。
- ・身に付けた知識・技能を様々な場面で活用させる。
- ・言語活動の充実を図り、思考力・判断力・表現力を高める。
- ・ICT機器を活用して創造させ、思考力、判断力、表現力を高める。